7　公害苦情発生状況

令和4年度に受け付けた公害苦情は177件であった。このうち、典型7公害（大気汚染、水質汚濁、騒音、振動、悪臭、土壌汚染、地盤沈下）に係るものが14件であった。内訳は表7－1のとおりであった。

表7－1　各公害の件数

分類	公害の種類	件数
典型7公害	大気汚染	0
	水質汚濁	6
	騒音	2
	振動	0
	悪臭	6
	土壌汚染	0
	地盤沈下	0
	小計	14
その他	不法投棄	144
	その他	19
	小計	163
計		177

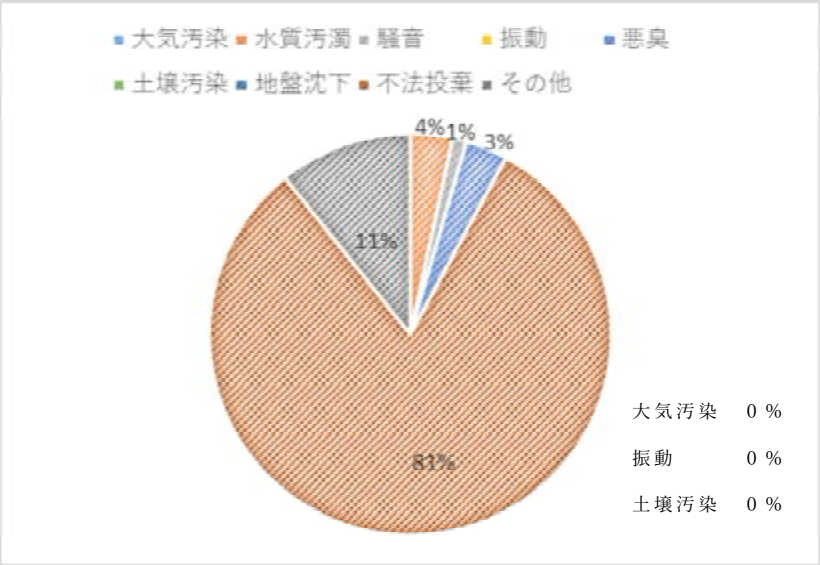

図7－1　各公害別割合

典型7公害のうち、苦情件数が最も多かったのは「水質汚濁」・「悪臭」で6件であった。「水質汚濁」の原因は産業排水関係が4件、その他2件であった。次に多かったのが「悪臭」の4件で、原因は農業行為によるものが3件、工場関係が1件であった。騒音の苦情は2件で、工事関係が1件、屋外イベント関係が1件であった。「大気汚染」「振動」「土壌汚染」「地盤沈下」については苦情がなかった。

典型7公害以外について、不法投棄が144件、その他が19件であった。その他の19件の内訳はすべて野焼きであった。

表7－2 年度別苦情件数

年　度	件数
平成17年度	113
平成18年度	95
平成19年度	120
平成20年度	83
平成21年度	77
平成22年度	57
平成23年度	69
平成24年度	49
平成25年度	44
平成26年度	50
平成27年度	16
平成28年度	53
平成29年度	189
平成30年度	166
令和元年度	183
令和2年度	190
令和3年度	124
令和4年度	177

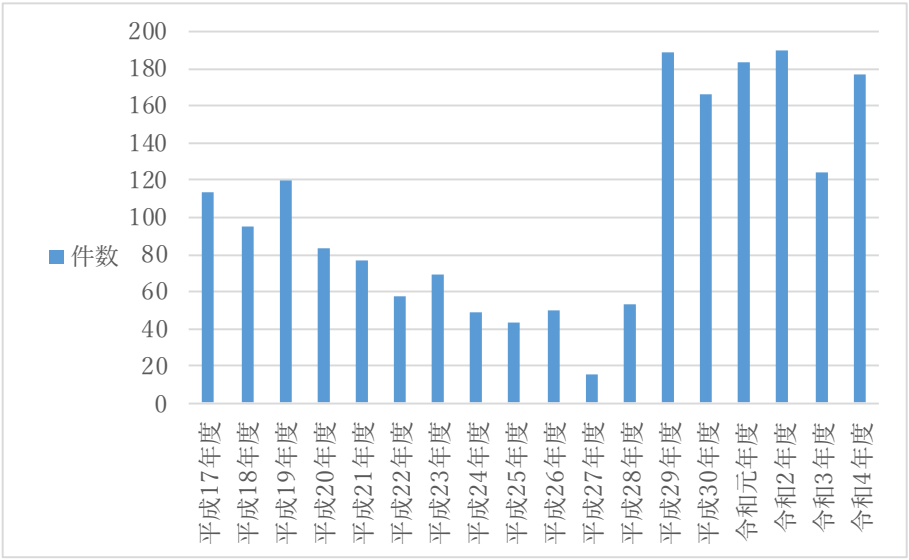

図7－2 苦情件数の推移

過去18年間の年度別苦情件数を表7－2及び図7－2に示す。

近年の動向として、平成19年度から平成28年度まで苦情件数は減少傾向にあったが平成29年度以降は増加傾向にある。これは監視員によるパトロールの強化により不法投棄の発見件数が増加したためである。

令和4年度の苦情件数は177件となり、そのうち144件が不法投棄であった。前年度と比べ不法投棄の件数は60件の増加となった。監視体制の強化だけでなく、市広報誌及びホームページ等での市民への周知の徹底に努め、さらなる苦情件数の減少につなげたい。